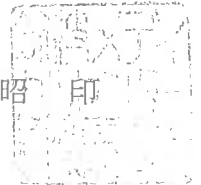


2012年 3月 30日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 紀 伊 國 献 三 殿

施 設 名 財団法人 筑波メディカルセンター
筑波メディカルセンター病院

代 表 者 病 院 長 軸 屋 智 昭 印



2011年度ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業助成
に 係 る 報 告 書 の 提 出 に つ い て

標記について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 研究・研修事業 2011年度ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業
2. 期 間 2011年 4月 1日 ～ 2012年 3月31日
3. 報 告 書
 - I 事業の目的・方法
 - II 内容・実施経過
 - III 成果
(上記Ⅰ～ⅢをA4縦・横書 6,000字程度にまとめる)
 - IV 収支報告
 - ①助成金の使途(人件費以外は領収書等の証憑書類を添付)
 - ②当該助成金に関わる部分の決算書「写」
(貴機関の全会計決算書ではなく、当該助成計上部分のみで可)
※決算期の関係で2012年3月19日(月)までに「写」を提出できないときは提出予定日を記入
(提出予定日 2012年 5月 31日)
 - V 研修修了者報告書

以上

平成23年度ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業

筑波メディカルセンター病院 緩和医療科

診療部長 志真泰夫

診療科長 久永貴之

I.事業の目的・方法

1) 目的

本研究事業の緩和ケア専門研修においては、筑波メディカルセンター病院（以下、当院とする）での緩和ケア病棟や緩和ケア専門外来での研修のみならず、連携する大和クリニックにおいても研修を行う計画である。大和クリニックでは在宅緩和ケアを必要とする患者の訪問診療の研修を予定している。当院では緩和ケア病棟での専門的な緩和ケア研修に加えて、専門外来において外来患者のマネジメントや地域医療との連携に重点をおいた研修も行う予定である。そして、これらの幅広い研修を通じて1年間で緩和医療専門医として必要な知識・技能の習得を目指すことを目的とする。

2) 方法

木村洋輔 医師（以下木村医師）は平成17年4月から19年3月まで筑波大学付属病院において初期研修を修了し、平成19年4月から同病院の総合診療コースの後期研修を行い、その期間中に平成20年9月から12月の3ヶ月間を当院緩和医療科で緩和ケア病棟短期研修を実施した。平成22年10月から茨城県筑西市にある大和クリニックにおいて、訪問診療を中心とした在宅医療を経験し「プライマリケア学会専門医」の資格を取得した。その過程において、地域医療での緩和医療の必要性を一層強く感じ、「緩和医療専門医」資格の取得を目的として更に緩和ケアの研修を続けたいと考え、当院および連携の大和クリニックで質の高い緩和医療に関する研修を行いたいとの希望があり、貴財団の「ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業」に応募した。

木村医師の専門フェローシップ研修の具体的目標として、1) 緩和医療の幅広い臨床能力を身に付けること、2) 在宅緩和ケアと緩和ケア病棟の両方の臨床経験を積むこととした。研修年限は1年間とし、研修プログラムは当院緩和医療科と大和クリニックにおける在宅緩和ケア研修を組み合わせるやり方で計画した。

3) 具体的な研修計画

○緩和ケア病棟研修

緩和ケア病棟における急性期の入院患者を対象として専門的な症状マネジメントやチームアプローチについて研修を行い、緩和ケア病棟における診療を会得することを目的とする。

○緩和ケア外来研修

専門外来における外来診療を担当し、緩和ケア専門外来の機能を理解したうえで、痛みをはじめ症状の緩和や家族などの対応を行い、在宅医療との連携についても研修することを目的とする。

○在宅緩和ケア研修

在宅緩和ケアの症状マネジメント、さらに地域の訪問看護ステーション等との連携、緊急時の対応を研修することを目的とする。

Ⅱ.研究事業内容・実施経過（資料参照）

○平成23年4月1日～9月31日（大和クリニック）

木村医師はこの期間、大和クリニックにて指導医（浜野淳医師）の下で在宅医療、主に在宅緩和ケアを必要とする患者への訪問診療に従事し、在宅における緩和ケア研修を実施した。

○平成23年10月1日～平成24年3月31日（筑波メディカルセンター病院緩和医療科）

木村医師は筑波メディカルセンター病院に緩和医療科専門研修フェローとして勤務し、緩和ケア病棟の病棟医として、実際の臨床を研修した。指導医の下でおよそ60例のがん患者を担当し、専門的な緩和医療を経験することができた。さらに、週1回の専門外来の研修を実施した。

Ⅲ 専門研修の成果

木村医師が笹川記念保健協力財団「平成23年度ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業」に応募して受けることができた「専門研修」は、筑波メディカルセンター病院 緩和医療科と大和クリニックが連携することで、病院での研修のみでは不足する在宅医療・在宅緩和ケアに関する研修を補完することができた。木村医師は、平成24年4月から筑波メディカルセンター病院医員として緩和ケア病棟や外来診療等の専門的な緩和ケアの診療に従事する予定である。

平成23年 緩和医療科フェローシップ研修プログラム

年間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修内容	大和クリニック在宅医療研修						筑波メディカルセンター病院緩和医療科研修					

週間

4月～9月

	月	火	水	木	金	土
午前	在宅医療	在宅医療	在宅医療	在宅医療	在宅医療	
午後	在宅医療	在宅医療	在宅医療	在宅医療	在宅医療	

10月～3月

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	月1～2回病棟
午後	病棟	外来	病棟	病棟	病棟	